

自由に参加できます！

科学技術研究所・講師招聘講演会

マツノザイセンチュウをめぐる最新の研究動向 ー病原性規定因子に対するオミクスのアプローチー

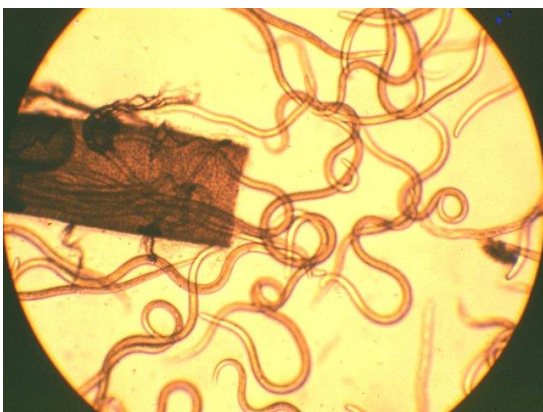
竹内 祐子 氏

(京都大学大学院 農学研究科)

日時：2015年12月4日（金）16:30～18:00 頃

会場：明治大学生田キャンパス 農学部6号館6-204 教室

マツノザイセンチュウは、白砂青松を要する日本古来の景観を壊滅状態に追い込み、今なお拡大を続けるマツ材線虫病（通称マツ枯れ）の病原体です。ドラフトゲノム公開から4年、本種病原性をめぐる分子基盤の整備は着々と進みつつありますが、一方で「なぜ線虫が巨木を枯らすことが出来るのか」、その全貌は明らかになっていません。本講演では、複数の生物種による複雑な相互関係によって成立する本病伝染環を概説するとともに、ゲノム情報を応用したオミクス研究例として、古典遺伝学をベースとしたゲノミクスによる病原性規定因子の探索プロセスはじめとする最新の研究動向を紹介します。皆さま、奮ってご参集下さい。



マツノザイセンチュウ（森林総研 HP より）

問い合わせ： 農学部 小倉信夫・糸山 享